
ルーチカ先生と、お父さん

シー様（借りの返せない男）

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ルーチカ先生と、お父さん

【Nコード】

N3784P

【作者名】

シー様（借りの返せない男）

【あらすじ】

売れない作家と駄目なパパ

くげええ！ くええ！ くげええ！

何処からとも無くする音の元凶は、しなびたアパートの一室から聞こえる。

音のする方向はトイレ。

そこにてオカツパ頭の女が蹲り

「くげええ！ くええ！ くげええ！」

ゲロを吐き散らき散らしているのだ。

彼女の名前はルーチカ！

この物語を書いている作者である。

「新年早々ゲロ吐いた・・・。(P、q)」

彼女は貧乏。貧乏であるが故に食うに困る。食うに困るから道に生えた雑草を食ってしまったのだ。

そう、彼女は売れない小説家なのである。

人生をペンのみに捧げてしまった結果、今更、諦められないのである。

今まで、沢山の本を読み、勤勉に書き、それでも作家デビューできない。

なのに諦めきれないのは、頑張りすぎた為だろう。

あと、少しの努力で成功が掴めるかもしれない。

そう彼女は思ってしまうのだ。

もし、ここで諦めてしまえば、今までの小説を勉強してきた事が無駄に終わるからである。

だから彼女は、がんばるのだ。

だが、頑張るってるのは彼女だけではない。お父さんも頑張っているのだ。

実はルーチカは働かずニート化している。

夢を追いかけ過ぎて、他の事（働く事）が手に付かなくなってしまっているのだ。

だとしても、お父さんは強いです。いい年こいたニートを養う覚悟があります。

でも、借金してます。

事業が失敗し、1000万円の借金があるのです。だから、ルーチカは草を食べてしまったのである。

今、2人の夢は一つ。

一発逆転を狙って小説で成功する事である。

働こうよ、とか突っ込みは入れてはいけない。

親子で夢見るなんて素晴らしいではありませんか。

世の中は、そうは思わなくても、お父さんだけは、そんな風に思っているのです。

ですが、今、ルーチカ先生は、病んでる。

小説のネタに困り果てている。

今、書いている物語で、超能力の現象をどうすれば現実的なトリックにできるのか悩んでいるのである。

パパ「どうしたんだい？ ルーチカ、凄いくマだよ」

ルー「パパー！ このトリックを どうしたらいいのかわからないの？
パパはルーチカの小説を読んでみた。」

パパ「ん〜何々〜あ、わかったよ、閃いちゃったーw

ルー「マジ!? おしえて！

パパ「いやだ

ルー「なんでー！

パパ「教えて欲しかったら、外に出て働きなさい！

ルー「うわーーーん

¥お父さん！ 夢を追いかけるじゃなかったの？¥

パパはルーチカの頭を、なでなでする。

「泣いても働いて貰うぞ！

¥お父さん！ 言ってる事とやってる事が繋がってません¥

ルーチカは泣きまわっている、それもその筈、彼女はもう26歳、同期の仲間達は就職し自分だけは何もしていないという社会的な負い目を感じずにはいられない。でも、小説は散々努力してきた。その努力が一切実っていない悲しさと悔しさ、やり場の怒りと空しさは『働く事』を考える事で、より悲しみに拍車がかかる

ルー「あたし死ぬ!!!」

¥お父さん!!! これは危ないです。どうしたら、こんな極端な性格に育てられるのですか？

¥あ、なるほど、ありがとうございますm() () m
¥直ぐに答えが判りました。

ルーチカは台所に行き包丁を取り出しエイヤー!!!と手首を切りつけた。

ルー「あああああ、痛いな・・・ やっぱり、死ぬの怖いな〜
〜 アタシやっぱり死ねない!!!」

¥はい、一人で立ち直りました。¥

パパ「じゃあ、ヒント教えてあげる。」

¥え？ お父さん何？ このタイミングで何でその切り替えしなの？¥

ルーチカ「やったー!!!!!!」

¥え！？ なに？ この娘さんの軽い身のこなし・・・¥

父は娘さんの書いた小説を見て熱く語る。

「この最初の出だしが悪いと思う、ここをこっぴどく、こっぴどく、こっぴどくすれば・・・」

娘も真剣に耳を傾けている。

「なるほど、判った！ 序盤の話を書き換えればいいのね。よし、やるぞー！！！」

ルーチカ先生は再度ペンを握り書き始めた・・・

時間は飛び、

ルー「やった！ 書けたー！ パパ見て見てー！！！」

パパ「どれどれ・・・」

父は小説を覗き込む読んでいるページは・・・

(後書き)

別小説、怪文書 | 157 事件 | 負の連鎖反応・・・ (ル

| チカ先生との共同作品)

にて目次の〈本当の神〉の項目と差し替えて読んでください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3784p/>

ルーチカ先生と、お父さん

2010年12月8日20時03分発行